

令和 3 年度 文化行政課事業概要について

別添資料のとおり

※令和 3 年第 1 回（3 月）上越市議会定例会文教経済常任委員会資料

- ① 歴史文化推進費
- ② 春日山城跡保存整備事業
- ③ 市内遺跡発掘調査事業
- ④ ほ場整備等遺跡発掘調査事業
- ⑤ 埋蔵文化財センター管理運営費
- ⑥ 「弥生のムラ」コミュニティパーク事業
- ⑦ 歴史的建造物等整備支援事業

提出課	文化行政課
-----	-------

歳出科目 (P 322 ~ P 325)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
----------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史文化推進費	8,872	8,448	424

主な財源		主な経費	
諸収入	395	報酬	2,047
一般財源	8,477	旅費	1,011
		需用費	1,604
		委託料	1,194
		負担金補助及び交付金	2,122

【目的】

- ・ 県内最多を誇る 371 件の指定文化財の保存・伝承に努めるとともに、新たな文化財の指定を行うことにより、適切な保護を図り、活用を促進する。
- ・ 「地域の宝」認定制度の運用により、有形・無形、文化財の指定・未指定に関らず、地域住民が大切に守り伝え、よりどころとする文化財の次世代への継承を図るとともに、魅力ある地域づくりの一助とする。
- ・ フォーラム等の開催や北前船日本遺産推進協議会の活動等を通じて関係自治体等との交流を図りながら、日本遺産の認定を受けた北前船寄港地としての歴史や文化を更に周知し、市民の郷土への誇りと愛着の醸成を図る。

【実施内容】

- ・ 文化財調査審議会の開催
- ・ 未指定文化財の調査
- ・ 指定文化財の管理、保存団体への補助
- ・ 市所有史跡の草刈り、遊歩道整備等の実施
- ・ 「地域の宝」の募集・認定
- ・ 「地域の宝」のつどいの開催、次世代への継承に必要な助言、情報発信等
- ・ 北前船に関するフォーラムや展示の実施
- ・ 北前船日本遺産推進協議会事業
- ・ 北前船寄港地フォーラム等への参加（開催地：秋田県秋田市ほか）
- ・ こしのくに国府フォーラムの開催
- ・ 御城印頒布による城跡の魅力発信及び周遊の促進
- ・ 偉人顕彰事業（業績や地域の歴史を紹介）

(参考) 令和 3 年 1 月末現在

- ・ 文化財指定件数 371 件

種別	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡・典籍	古文書	考古資料	歴史資料	無形文化財	民俗文化財	史跡・名勝	天然記念物	計
国	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	1	11
県	1	2	8	8	6	0	5	1	0	1	4	3	39
市	13	16	58	10	13	30	50	40	0	38	26	27	321
計	15	18	70	18	19	30	55	41	0	40	34	31	371

- ・ 国登録有形文化財（建造物）件数 34 件

歳出科目（P 324～P 325）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城跡保存整備事業	13,345	13,411	△66

主な財源		主な経費	
寄附金	1	報酬	542
一般財源	13,344	需用費	1,101
		委託料	9,466
		使用料及び賃借料	421
		工事請負費	1,419
		原材料費	269

【目的】

春日山城跡を風雨等による損傷から守り、適切な維持管理を行うとともに、地域学習の教材として利活用を図る。

【3年度目標】

- ・土砂崩落や倒木等による遺構損傷を防ぎ、城跡の保存を図るため、適切な雨水処理や植生管理等に取り組む。
- ・土の一袋運動等により、市民協働で城跡保全に取り組む。
- ・史跡保護のため、鳥獣被害対策に取り組む。
- ・曲輪や空堀、土塁など山城の特徴を体感できるよう修景に取り組む。
- ・春日山城跡ものがたり館入館者数：17,000 人
（平成 30 年度：22,916 人、令和元年度：26,122 人、令和 2 年度見込み：16,000 人）

【実施内容】

- ・降雨時の状況を把握するなど日常点検のほか、遊歩道・法面等の修繕、低木伐採及び下草刈りを行い、城跡の保存を図る。
- ・関係課と連携を図り、後世に設置された建造物の撤去や、樹木の伐採等により、城跡の保存や修景に取り組む。
- ・専門家（鳥獣被害対策アドバイザー）の指導を受けるとともに、関係課と連携を図り、鳥獣被害対策に取り組む。
- ・市民団体や地元小中学校との協働による草刈りや松葉かきなどの美化活動及び土の一袋運動等に取り組む。
- ・散策会「まいぶん春日山講座」（年 3 回）を開催する。
- ・地元管理組合に、春日山城史跡広場及び春日山城跡ものがたり館等の管理を委託する。
委託先：春日山城史跡広場管理組合
（地元 5 町内〔大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野〕で組織）
内 容：史跡保存用地の草刈り、修繕（広場内の腐食した杭・木柵等の交換）
施設管理（受付・案内・清掃業務）、大手道の維持管理等
- ・カキツバタ（大手道入口、監物堀^{けんもつぼり}）の維持管理、春日山城跡ものがたり館排煙オペレーターの修繕等を実施する。
- ・「日本 100 名城」スタンプラリーを実施する。

歳出科目 (P 324 ~ P 325)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
----------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市内遺跡発掘調査事業	11,881	6,544	5,337

主な財源		主な経費	
国庫支出金	5,932	報酬	1,768
県支出金	762	委託料	4,333
一般財源	5,187	共済費	92
		需用費	732
		使用料及び賃借料	4,739
		原材料費	124

【目的】

各種開発事業から遺跡を保護するため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

【実施内容】

(1) 事業主体から依頼を受けた次の 10 地区について、発掘調査を実施する。

調査種別	No	開発事業名	地区名	工事計画面積 (調査対象面積 ha)
試掘・確認 調査	①	県営ほ場整備	中江有田地区	5
	②		石沢地区	23
	③		島田地区	30
	④		原之町地区	11
	⑤		東潟地区	18
	⑥	民間集合住宅建設	大和 5 丁目	1
	⑦	上越魚沼地域振興快速道路建設	三和区末野	1
	⑧	農村地域防災減災	板倉区針	1
	⑨	都市計画道路建設	黒井藤野新田線	3
本発掘調査	⑩	県営ほ場整備	今池地区	1
合計				94

※ 県営ほ場整備事業に係る本発掘調査 (⑩) に要する経費のうち、「農家負担分」を本事業から支出する。

(2) 発掘調査報告書作成

『市内遺跡発掘調査概要報告書』の刊行
各種開発事業に伴う調査結果を概要報告書として公開する。

(参考)

- ・試掘調査：地表面の観察等からでは判断できない場合に行う埋蔵文化財の有無を確認するための部分的な発掘調査
- ・確認調査：周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲・性格・内容等の概要までを把握するための部分的な発掘調査
- ・本発掘調査：開発などで埋蔵文化財が失われる範囲について、その内容など詳細を記録保存するための発掘調査

歳出科目（P324～P325）	10款5項6目	文化財保存調査費
-----------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ほ場整備等遺跡発掘調査事業	154,276	140,583	13,693

主な財源		主な経費	
県支出金	154,271	報酬	4,608
一般財源	5	旅費	305
		職員手当等	450
		需用費	163
		共済費	923
		委託料	147,827

【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業地内において遺跡の発掘調査を行い記録保存する。

【実施内容】

(1) 本発掘調査

調査原因：県営ほ場整備事業

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
今池遺跡	集落跡	今池	古墳・古代・中世	約 4,000 m ²

※ 上記に要する経費のうち、「農家負担分」を除いた経費について本事業から支出する。

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
榊形城跡	城館跡	三和区末野	中世	約 1,600 m ²

(2) 発掘調査報告書作成（整理作業）

作業内容：令和元～2年度調査で出土した土器等の水洗、注記、接合、復元作業など

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
神田原山窯跡	窯跡	三和区神田	古代	約 1,500 m ²
原山遺跡	集落跡	三和区神田	縄文	約 5,800 m ²



原山遺跡発掘調査風景（三和区）

歳出科目（P324～P325）	10款5項6目	文化財保存調査費
-----------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
埋蔵文化財センター管理運営費	11,239	9,057	2,182

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	4	報酬	2,281
財産収入	18	旅費	87
一般財源	11,217	需用費	5,860
		役員費	240
		委託料	1,994
		使用料及び賃借料	686

【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

【3年度目標】

入館者数：22,000人

（平成30年度：27,800人、令和元年度：33,312人、令和2年度見込み：21,000人）

【実施内容】

(1) 調査研究

- ・遺跡の発掘調査を行い記録保存する。
- ・出土品等に関する情報収集や資料調査などを行う。
- ・発掘調査の成果を報告書等にまとめ、公開する。

(2) 保存管理

- ・発掘調査で収集した出土品等を整理（水洗、注記、接合、復元、写真撮影、図化など）し、適切に保存するとともに、資料の公開・活用ができるよう管理する。

(3) 普及公開

- ・主に先史時代から戦国時代までを対象に、通史的に展示を行い地域の歴史を紹介するとともに、謙信公ゆかりの文化財や春日山城跡に関する資料を展示し、謙信公の紹介と次世代への伝承を図る。
- ・こしのくに国府フォーラムの開催に伴い、「(仮称) 遺跡から見た古代の上越」展を開催する。
- ・各地の博物館、資料館等に資料を貸し出すことで、広く市外での公開にも努める。
- ・収集した図書や、発掘調査報告書、各種関連資料を公開し、市民の利用に供する。
- ・学校教育との連携を図り、小中学生の利用を促進するほか、生涯学習の学びの場として活用を図る。

(4) 維持管理

- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、来館者が安全安心に、かつ快適に学習・鑑賞ができる環境を整えるとともに、施設の適切な維持管理を行う。
- ・エアコンの修繕を実施する。

【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
観覧料	無料

歳出科目（P324～P327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-----------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
「弥生のムラ」コミュニティパーク事業	16,415	21,308	△4,893

主な財源		主な経費	
諸収入	130	報酬	4,228
一般財源	16,285	共済費	824
		旅費	335
		需用費	2,010
		委託料	7,924
		使用料及び賃借料	489

【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

【3年度目標】

- ・釜蓋遺跡発掘調査総括報告書としてまとめた成果を報告会等で周知することにより、市民に郷土への関心や理解を深めてもらう。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：12,000人
（平成30年度：21,513人、令和元年度：21,011人、令和2年度見込み：8,000人）

【実施内容】

(1) 活用

- ・総括報告書でまとめた発掘調査の成果について、報告会等で市民へ周知する。
- ・釜蓋遺跡ガイダンスの展示更新を行う。
- ・発掘調査成果に基づいた今後の整備や活用の検討を行う。
- ・小学校の総合的な学習の時間や歴史学習の場としての施設活用や勾玉づくり、土器・土笛づくりなど体験活動を実施する。
- ・遺跡応援団との連携による体験活動や「吹上・釜蓋遺跡春まつり」などのイベントを実施する。
- ・遺跡の魅力を発信する「釜蓋遺跡ガイダンス定期講座」を継続的に実施する。

(2) 維持管理

- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈りなど史跡の適切な維持管理を行う。
- ・釜蓋遺跡ガイダンスについて、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、来館者が安全安心に、かつ快適に学習・鑑賞ができる環境を整えるとともに、施設の適切な維持管理を行う。

【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
観覧料	無料

歳出科目（P 326～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史的建造物等整備支援事業	7,530	11,069	△3,539

主な財源		主な経費	
財産収入	1	報償費	50
寄附金	20	旅費	34
繰入金	7,425		
一般財源	84	負担金補助及び交付金	
			7,425
		積立金	21

【目的】

市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し、補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を図る。

【3年度目標】

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数：1件

【実施内容】

- ・対象事業 歴史的建造物及び産業遺産の保存又は改修に係る事業で、主体的なまちづくり活動による地域コミュニティの形成に資するもの
- ・補助率 3/4（限度額 7,500 千円）
- ・財源 歴史的建造物等整備支援基金
- ・認定 建築や歴史の専門家で構成する選定審査会の答申を経て、実施事業を認定
- ・交付決定 認定後、交付申請に基づき補助金の交付を決定

<これまでの補助金の交付状況（令和2年度は交付見込み）>

年度	件数	支援対象	金額
平成 21 年度	3 件	高田世界館、林富永邸、旧頸城鉄道百間町駅構内線路	14,502
平成 22 年度	3 件	林富永邸、平出修旧居、旧川上小学校体育館	18,178
平成 23 年度	1 件	飯田邸	1,579
平成 24 年度	1 件	飯田邸	5,921
平成 26 年度	3 件	旧頸城鉄道本社社屋、岩の原葡萄園石蔵、麻屋高野	16,855
平成 27 年度	2 件	麻屋高野、高田世界館	8,337
平成 28 年度	2 件	林富永邸、高田世界館	5,477
平成 29 年度	3 件	林富永邸、高田世界館、料亭宇喜世	14,323
平成 30 年度	2 件	白田邸、二本木駅	14,587
令和元年度	2 件	鴨井邸、飯田邸	8,369
令和2年度	2 件	鴨井邸、善徳寺経堂	8,354
合計	24 件		116,482

※ 平成 25 年度は実績なし